2024
2

岡山県立倉敷工業高等学校　資格検定推進室

資格検定ニュース

2024 年 2 月｜第 20 号

学びの手法

学校では色々な学びがあります。教科書を開けば、新しい言葉が出てきます。その内容を理解し、身につけ、応用していきます。その時に、その学ぶべき内容を包括する全体像を俯瞰して、大きく捉えてから、個々の詳細を知るようにすれば、理解しやすいように思います。

その事象は、何のために生まれてきたのか。事象 A と事象 B や C との違いは何か。共通点は何か。なぜ区別しなければならないのか。端的に要約すれば、どういうことなのか。

健康的な食生活は、健やかに生きるための条件の 1 つです。ここで例えば、「野菜や果物を食べることがなぜ大切なのか」を考えたときに人間には消化できない食物繊維が、人間の腸内に住む微生物（乳酸菌やビフィズス菌、酢酸菌など）の餌となり、健康に役立つ短鎖脂肪酸を作り出すからだと知ったとします。この時に合わせて中鎖脂肪酸（ココナッツミルク、母乳、牛乳や MCT オイルに含まれる）や長鎖脂肪酸（大豆油、なたね油など通常の植物油に含まれる）も一緒に学べば、それぞれの役割や消化吸収の違いや有用性の差異も理解しやすくなります。

工業の分野で言えば、例えば「水車」と「ポンプ」はただ単に構造を知ることに留まらず、エネルギーの流れの方向や、流体エネルギーと機械的エネルギーの変換、「原動機」と「被動機」の差異まで考えることができます。その他には、内燃機関の「容積型」と「連続型」の違いは何か。「内燃機関」と「外燃機関」は何が違うのか。などです。

学んだことを他人に解りやすく説明できるまでになれば、理解の程度は進んだということでしょう。